

## 行事報告書(自主活動)

報告者: 仲谷貞夫

行事名	甲山探鳥会5月会
実施日時	2023年5月4日(木曜日) 10:40~13:00 天候: 晴 気温 22℃
場所	浜甲子園
参加人員	MNC18名、一般参加 9名 計27名
参加者	MNC 今西、岡田、松生、木村(俊)、青山、笠間、田中(富)、沼田、大地(祥)、 吉田、西岡、花島、山本、足立(智)、樋口、森本、森永(啓)、仲谷 一般参加 足立(貴)、遠藤、大西、黒田、佐藤、曳野、別所、南、山田
観察鳥	鳥数 28種 マガモ、カルガモ、ホシハジロ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、 ダイサギ、コサギ、オオバン、コチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、イソシギ、 キョウジョシギ、ハマシギ、ユリカモメ、カモメ、セグロカモメ、コアシサシ、ミサゴ、 トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ (写真は下段に掲載しました)
観察概要 と感想	<p>阪神バス浜甲子園運動公園前に集合後、道端の植物観察をしながら観察場所に到着。海岸に到着すると海は干潮で干潟がかなり広がっていた。まずは岩影に居たキアシシギ2羽とカルガモの観察から観察が始まった。その場では、スコープも利用しながらハマシギ、コアシサシ、ユリカモメを観察。その後、最近整備が終了した防波堤に沿って東に移動し、干潟が広がった場所では餌を懸命に探す繁殖期色のアオサギ、ダイサギ、コサギやコチドリが観察出来た。海上にはカンムリカイツブリ2匹が泳いでいた。また干潟では足を痛めたのか休んでいるセグロカモメの幼鳥とそのそばに寄り添うカワウを観察。その後ゆっくり鳴尾川の下流までみんなで移動、そこでは干潟で羽を休めるユリカモメや河口の岩の上で遊ぶキョウジョシギをじっくり観察出来た。昼近くなり、そこからUターンし帰路についた。途中、離れた磯辺で魚を獲ったミサゴにアオサギが挑んでいる場面に出くわし、その瞬間をうまく捉えた画像もカメラモニターで確認出来皆さん歓喜。素晴らしい観察のエンディングとなった。アオサギのチャレンジ精神に感謝!</p> <p>今回はゴールデンウィーク真っ直中、五月晴れの浜甲子園干潟でゆっくりしている水鳥を肉眼でも判別可能な近い距離で観察出来た事は大変良かった。久しぶりにゆったりとした野鳥観察となりました。シギ科、チドリ科は個体の判別が難しいとの観念を捨て、今後はドンドン観察していきたいです。 (記 樋口)</p> <p>干潮に時間を合わせた今回の探鳥会、メインテーマの旅鳥であるチュウシャクシギ、キアシシギ、そして色鮮やかなキョウジョシギをはじめ、干潟で活動する沢山の水鳥が観察出来、楽しい野鳥観察会となりました。参加者は大きく予想を超え27名でした (記 仲谷)</p>
連絡事項	6月甲山探鳥会は6月1日(木)に甲山森林公園で開催いたします。奮ってご参加ください

### 観察出来た鳥の写真



コアシサシ



コチドリ



イソシギ



チュウシャクシギ



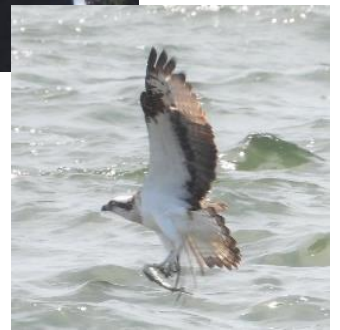
キアシシギ



キョウジョシギ



ボラを捕らえたミサゴに挑む  
アオサギ



ユリカモメ



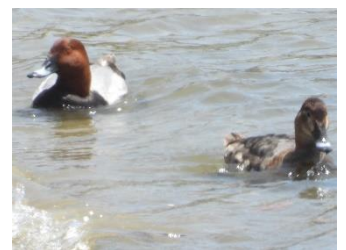
ユリカモメ (夏羽)



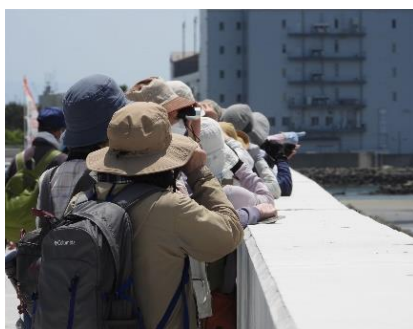
カンムリカイツブリ



ダイサギ、コサギ、アオサギ



まだ居た冬鳥ホシハジロ



観察風景

(写真 青山さん、西岡さん、樋口さん)